

技術士を目指した理由の一つに父という存在があります。父は建設会社に勤務しているのですが、同僚が技術士だったことをきっかけに、技術士資格に興味を持ち、まだ受験資格がないころから、「今年の試験はどうだった？」とプレッシャーをかけられていました。□頭試験合格発表の前日、私はぐっすり寝てましたが、父は気になって眠れなかったようです。今では、「総監はまだか？」と30代半ばにして未だに「勉強したのか？」と言われている気がします。

そんな私ですが、社会人になってから13年が経過しようとしております。その中で2つの貴重な期間があります。1つ目は、財団法人出向期間に、故・星 清先生の下で水文学・水理学の研究ができたことです。大きな声で親身に指導していただいた3年間は、とても貴重な時間でした。2つ目は約40年振りの工事実施基本計画の見直しのタイミングに巡り合ったことです。基本高水、河道計画、事業評価、土砂管理、内水計画、水防計画等を検討したことは、河川分野に従事する技術者として恵まれていたと思います。

今年4月から現在の会社に席を置き、予ねてから希望していた河川構造物の設計を初心に戻り、従事しています。河川計画の視点を持って設計に携わると、同じ河川分野でも考えに差があり、日々新しい知識が蓄積されている気がし、非常に楽しい？です。目標は、「実現性の高い計画」、「計画を十分に理解した設計」が出来る技術者です。両方できない半端な技術者になるリスクもありますが、経験の蓄積、新しいガイドラインの理解等に努め、信頼される技術者になりたいです。

秋田 大輔 (あきた だいすけ)

●建設部門
(河川、砂防及び海岸・海洋)

勤務先

株式会社構研エンジニアリング
河川部



➡ 次号は、河合 敦さん(建設部門)

私は、昭和63年に財団法人北海道農業近代化コンサルタントに入社し、平成11年から現在の職場で勤務しております。

入社後、おもに農業水利に関わる業務に従事しておりましたが、現在は農地再編整備事業における大区画ほ場の機能効果を検証する業務などで日々調査を行っております。

調査では、農業者の承諾のもと、大区画化に整備した田畑で地下水位や用排水量などの試験を行って、ほ場機能を検証しておりますが、天候条件や営農条件によって変わる試験結果と理論値の評価に悩みながら進めております。

調査の時には、農業者から大区画ほ場の意見や感想などの貴重な情報が得られることがあり、調査の是正点やほ場機能の課題点などに大いに役立っております。

これからは、農業基盤整備の技術向上をはじめ、農業者の意見を取り組んで、これを農産物の生産性の向上や省力化に結び付ける技術の展開が必要と考えております。

技術士として、まもなく1年が経ちますが、今までは業務を狭い視野で見ていた面があったと思います。今後は、農業政策や今後の農業のあり方について学び、今後の展望を踏まえて、業務を遂行できるように技術の研鑽に取り組んでいきたいと考えております。

渡辺 久信 (わたなべ ひさのぶ)

●農業部門(農業土木)

勤務先

株式会社ルーラルエンジニア
札幌支店



➡ 次号は、本間成人さん(建設部門)